

## WEEKLY REPORT

## SAGA YAMATO ROTARY CLUB

国際ロータリー第2740地区 第1グループ

## 第1066回例会

2016～2017 年度国際ロータリーのテーマ



RI 会長

ジョン F ・ジャーム(CHATTNOOGA-RC)  
 第2740地区ガバナー  
 崎永 剛 (長崎北 RC)

## 崎永剛ガバナー公式訪問

2016年10月4日(火)

- ① 開会点鐘
- ② 開会の辞
- ③ 国歌並びにロータリーソング  
「奉仕の理想」
- ④ 四つのテスト
- ⑤ 来訪者紹介
- ⑥ 会長の時間  
会 食
- ⑦ 幹事報告
- ⑧ 崎永ガバナー卓話
- ⑨ 出席報告、ニコニコBOX 報告
- ⑩ 閉会点鐘

MEMO

※次回例会

10月11日(火)

12:30～ 龍登園

創 立 1994/2/22  
 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
 会場 ホテル龍登園 0952-62-3111  
 第4火曜日 18:30～19:30  
 会場 炭火焼丸美屋 0952-20-7770

会 長 浦川容伸 幹 事 松永光司  
 会報委員 川浪正大 古藤俊隆  
 事務局 佐賀市大和町大字東山田 1857-13  
 TEL・FAX 0952-37-9180  
 E-mail yamatorc358@juno.ocn.ne.jp

## 会長の時間

浦川会長

昨日から台風の影響を考慮し、例会を開催するかどうか幹事と検討しましたが、九州北部は影響もなく安堵しました。しかし鹿児島は被害も出ています。熊本も徐々に復旧していますが、業者主体でお客さまの身になって考えていない業者もあって気の毒になることもあります。全国から業者の進出も多くなっています。私の所に茨城の施工業者からの応援依頼があったので、どういう会社なのかグーグルマップで確認をしたところ、本社のあるべき所は空き地でした。こういう胡散臭い業者も多くなっています、皆さんも、家に上げない、屋根に登らせないが鉄則だと思います。くれぐれもご注意いただきたいと思います。

## 来訪者紹介

圓佛 洋右 様 (大牟田 RC)  
永淵 武敏 様 (遠賀 RC)

## 幹事報告

- R財団 100 周年記念シンポジウム公共イメージ向上協力金について  
1人当たり 250 円程度
- 地区大会事務所開設  
長崎市大橋町 6-6 小林ビル 2F  
9月15日より

## 出席報告

9月13日/メイクアップ1名  
27名中19名 (免除0名) 70.37%

9月20日/メイクアップ1名  
27名中21名 (免除0名) 77.77%

9月27日/メイクアップなし  
27名中17名 (免除0名) 62.96%

## 行事予定

月 日	行 事	会 場
10月11日(火)	1067 回例会 (米山奨学生卓話)	龍登園
10月18日(火)	1068 回例会	龍登園
10月25日(火)	1069 回例会	杉乃家

10月11日(火)

## 米山奨学生卓話

氏名：ダン・トゥー・フェンさん  
国籍：ベトナム  
大学：佐賀大学  
専攻：人間環境課程  
研究テーマ：熱水地球化学の研究  
世話クラブ：佐賀 RC

## 9月理事会報告

- 富士しゃくなげ湖ハーフマラソン  
協賛金 2万円
- ロータリー財団 100 周年記念シンポジウム公共イメージ向上協力金 (募金箱設置)
- 新会員候補者 2 名について  
理事会にて承認されました。異議申し立ては 9 月 26 日までです。

## ロータリーの豆知識

### ⇒ロータリー米山記念奨学事業とは

公益財団法人ロータリー米山奨学会 (以下、米山奨学会) は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

### ⇒事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

### ⇒なぜ、外国人留学生支援なのか？

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げた。1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい……という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」(R 米山記念奨学会史より)